

# 心をつなごう 日本

## カフェ文化を地域交流に



お菓子を使ったタワー作りに夢中になる子供たち  
 〓2月26日、宮城県石巻市の「HANNA荘」  
 (シェン〓JEN提供)

宮城県石巻市鹿妻のコミュニティ「カフェ」HANNA荘(はなぞう)がオープンして、3カ月が過ぎた。地域の絆の再生に役立ててもらおうと、日本ロレアル(東京)が昨年11月末に建設し、特定非営利活動法人(NPO法人)シェン(JEN)が運営を担っている。今では1日20人以上が訪れ、地域住民の「たまり場」として定着しつつある。

### 日本ロレアル

「思った通りにできた!」。小学6年の島田圭都君(12)と、妹で小学2年の紗楓ちゃん(8)は声を弾ませた。

2月下旬のある週末、HANNA荘には親子連れ約40人が集まり、クッキーやグミ、生クリームを組み合わせて思い思いのタワーを作るイベントが催された。

「あそこに行けば誰かがい

る」。震災後に住民同士の交流が減ってしまった鹿妻地区では、HANNA荘への期待は大きい。

重要な役目を果たすのが、地元から雇用された7人の「お世話係」だ。その1人で、圭都君と紗楓ちゃんの母親でもある恵さん(36)は「週に1回でも仕事ができよかった。親子が楽しめる場にしていきたい」と意気込む。

HANNA荘の建設は、日本ロレアルの井村牧副社長の「ロレアルグループのカフェ文化を復興支援に活用できないか」との思いつきから始まった。

パリ発祥のロレアルグループは世界中に現地法人を持ち、それぞれの社内にカフェを併設している。社員は部門や役職を超えて、交流を図る習慣がある。多くの犠牲者が出たうえ、公民館など人々が集える場所がなくなった地域で、ロレアルのカフェ文化が交流の再生に役立つ。そんな発想で建設したHANNA荘では、今月下旬から中高生向けの学習支援プログラムの実施も決まり、活用の幅を広げている。